

烏山土木事務所管内図

1

(一)烏山停車場線 那須烏山市中央 国道294号 那須烏山市旭交差点

事業名	快適で安全な道づくり事業	
路線名	一般国道 烏山停車場線 一般国道 294号	
全体計画	延長 L=980m 幅員 W=15.0m 事業費 C=610百万円 (R1年度~R6年度)	L=200m W=19.5m C=1,020百万円 (H25年度~R6年度)

本路線は、第2次緊急輸送道路に指定されていますが、歩道に段差や電柱があり歩行者の支障となっています。そのため、快適で安全な道路環境の創出を目的として、歩道のバリアフリー化、電線類の地中化を推進しています。令和6年度は、中央区及び旭交差点において、道路舗装工事、歩道美装化工事、道路台帳整備及び電線共同溝台帳整備を実施します。



整備状況

2

国道293号 那珂川町三輪

事業名	快適で安全な道づくり事業	
路線名	一般国道 293号	
全体計画	延長 L=2,940m 幅員 W=11.25m 事業費 C=950百万円 (R2年度~R10年度)	

本区間は、第1次緊急輸送道路に指定されていますが、車道幅員が狭く、歩道がない状況です。そのため、平常時・災害時を問わず、安全で信頼性の高いネットワークの確保を目的として、歩道の設置及び道路拡幅事業を推進しています。令和6年度は昨年度に引き続き用地取得及び道路改良工事を実施します。



現状

3

(主)那須烏山御前山線 那須烏山市上境

事業名	快適で安全な道づくり事業	
路線名	主要地方道 那須烏山御前山線	
全体計画	延長 L=840m 幅員 W=7.5m 事業費 C=500百万円 (R2年度~)	

本路線は、第2次緊急輸送道路に指定されていますが、線形が自由、車道幅員が狭いため、見通しが悪くすれ違いも困難な状況です。そのため、平常時・災害時を問わず、安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保を目的として、道路拡幅事業を推進しています。令和6年度は、用地取得及び道路改良工事を実施します。



現状

4

国道461号 那珂川町大平

事業名	快適で安全な道づくり事業	
路線名	一般国道 461号	
全体計画	延長 L=1,000m 幅員 W=11.0m 事業費 C=1,320百万円 (R2年度~)	

本路線は、第1次緊急輸送道路に指定されていますが、当該区間は車道幅員も狭く歩道がない状況です。そのため、それらを解消することを目的として、十分な車道と歩道を備えたバリア整備を推進しています。令和6年度は、橋梁詳細設計業務及び用地取得を実施します。



現状

5

(主)宇都宮那須烏山線 那須烏山市泉町交差点

事業名	快適で安全な道づくり事業	
路線名	主要地方道 宇都宮那須烏山線	
全体計画	延長 L=230m 幅員 W=12.0m 事業費 C=280百万円 (R4年度~)	

本路線は、第3次緊急輸送道路に指定されており、本文交差点周辺には災害時の拠点施設や避難場所も立地し、緊急車両の通行を確保する重要な区間となっているものの、幅員狭小となっており、緊急自動車等の通行に支障をきたしている状況にあります。そのため、緊急時を含めた道路の安全性や利便性の向上を図るため本文交差点の整備を行っています。令和6年度は用地取得を行います。



現状

6

(都)3・5・2号 山手通り 那須烏山市屋敷

事業名	街路づくり事業	
路線名	那須烏山都市計画道路 3・5・2号 山手通り	
全体計画	延長 L=600m 幅員 W=15.0m 事業費 C=1,113百万円 (R6年度~R12年度)	

本区間の周辺には、公共施設や観光施設が立地しており、賑わいある市街地を形成するうえで重要な路線となっています。また、小中学校および高校の通学路となっているが、現道は狭間で歩道が未整備の区間もあり、朝夕の通勤通学時間を中心に危険な状況となっています。そのため、道路拡幅により歩道整備を行い、誰もが安心して利用できる道路づくりを推進しています。令和6年度は、用地取得を行います。



現状

7

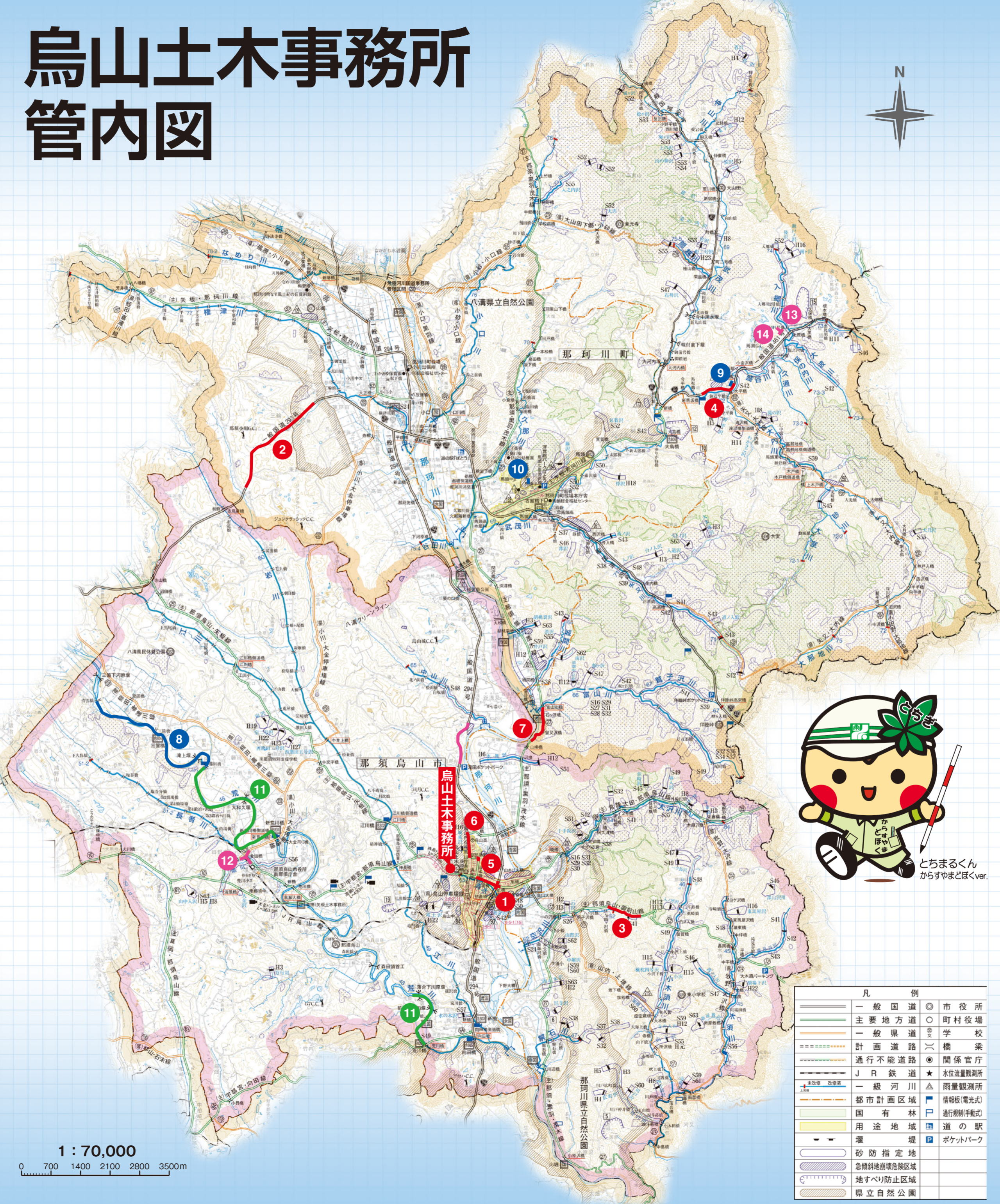
(主)那須黒羽茂木線 那珂川町富山

事業名	道路保全事業	
路線名	主要地方道 那須黒羽茂木線	
全体計画	延長 L=1,100m 幅員 W=6.0m 事業費 C=497百万円 (H28年度~)	

本区間は、落石等により通行する車両等が危険な状況にあります。そのため、道路防災点検において要対策とされた箇所について、安全性向上を目的として、土砂災害防止対策事業を推進しています。令和6年度は、用地取得、法面対策工事及び擁壁工事を実施します。



整備状況



8 荒川(塩谷) 那須烏山市三箇

事業名	安全な川づくり事業	
河川名	一級河川 荒川(塩谷)	
全体計画	延長 L=約3,800m 事業費 C=約2,916百万円 (R5年度~R24年度)	

本区間は、河槽の不足のため、令和元年東日本台風により、堤防の決壊や越水等の被害を受けました。そのため、氾濫防止を目的として、河槽拡大や護岸整備事業を推進しています。令和6年度は、設計業務を実施します。

現状

9 大平I-B 那珂川町大内

事業名	砂防施設づくり事業	
箇所名	大平I-B	
全体計画	崩壊土砂防護柵 L=約150m 法面保護工 A=約850㎡ 事業費 C=約312百万円 (R4年度~R8年度)	

本区間は、急傾斜地であり斜面の崩壊により、公的建築物である大内郵便局のほか、人家や国道461号に著しい被害を及ぼす恐れがあります。そのため、急傾斜地の崩壊による災害から人家などを守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、のり面保護工及び防護柵工事を推進しています。令和6年度は、崩壊土砂防護柵工事を実施します。

現状

10 馬頭二号沢 那珂川町馬頭

事業名	砂防施設づくり事業	
箇所名	馬頭二号沢	
全体計画	砂防堰堤 N=1基 事業費 C=180百万円 (R6年度~)	

本区間は、土砂災害警戒区域に指定されており、土石流が発生した場合、下流に位置する人家や地域の避難場所等に被害を及ぼす恐れがあります。そのため、災害から人家などを守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、砂防堰堤の整備を推進しています。令和6年度は、測量及び設計業務を実施します。

現状

11 荒川(塩谷) 那須烏山市向田、小倉・藤田

事業名	災害助成事業	
河川名	一級河川 荒川(塩谷)	
全体計画	延長 L=5,900m 事業費 C=6,337百万円 (R1年度~R6年度)	

本区間は、令和元年10月の台風第19号による記録的な大雨に見舞われ、堤防の決壊や越水が発生し、家屋の浸水等、甚大な被害が発生しました。こうした中、本区では局部的な原形復旧では再度被災する可能性が高いことから、堤防の高上げ等による改良復旧事業を推進しています。令和6年度は、築堤及び護岸工事等を実施します。併せて、これまで継続してきた安全な川づくり事業(向田地区)防災・安全交付金による堤防整備にも取り組んでいます。

整備状況

令和5(2023)年度の主な成果 Major Achievements

12 (主)宇都宮那須烏山線 那須烏山市田野倉

事業名	快適で安全な道づくり事業	
路線名	主要地方道 宇都宮那須烏山線	
全体計画	延長 L=680m 幅員 W=10.0m 事業費 C=2,200百万円 (H26年度~R6年度)	

本区間は、幅員が狭小で歩道もなく、特にJR烏山線アンダー部分は自動車のすれ違いが困難であるなど、通勤・通学の歩行者・自動車等が大変危険な状況にありました。そのため、アンダー部の拡幅やその近隣の田野倉交差点の改良を中心に、抜本的な道路改善事業を実施しました。本事業により、通学児童や沿道施設を利用する歩行者の安全確保と、緊急輸送道路として円滑な交通を確保することができました。

完了状況

13 谷川下沢 那珂川町谷川

事業名	砂防施設づくり事業	
路線名	谷川下沢	
全体計画	砂防堰堤1基 事業費 C=208百万円 (R2年度~R5年度)	

本区間は、土砂災害警戒区域に指定されており、下流に位置する人家や地域の避難場所等に被害を及ぼす恐れがある状況でした。このたび、土石流による被害軽減のための砂防堰堤の整備を行い、令和6年3月に完成し、保全対象人家等の安全性が確保されました。

完了状況

14 荷田I-A 那珂川町谷川

事業名	砂防施設づくり事業	
箇所名	荷田I-A	
全体計画	延長 L=115m 崩壊土砂防護柵 L=115m 事業費 C=119百万円 (R31年度~R5年度)	

本区間は、急傾斜地であり斜面の崩壊により災害時要援護者関連施設(老人福祉施設)に著しい被害を及ぼす恐れがある状況でした。そのため、急傾斜地の崩壊による災害から施設などを守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、崩壊土砂防護柵工事を実施してきました。令和5年度に事業が完了したことにより、急傾斜地の崩壊から災害時要援護者関連施設(老人福祉施設)などを守り、安全を確保することができました。

完了状況